

## 2 小 学 校

児童数 60,459 人で、減少  
長期欠席者数は減少

表 4 小学校の推移

(単位：校、級、人、%)

年度	A 学校数	B 学級数	C		D		1学級当たり		教員1人当たり		女子教員 の占める 割合
			児童数	対前年度 増減率	教員数	対前年度 増減率	児童数 C/B	対前年度 増減数	児童数 C/D	対前年度 増減数	
平成17	224	2,459	61,088	0.2	3,707	△0.4	24.8	△0.3	16.5	0.1	69.1
18	211	2,448	61,441	0.6	3,669	△1.0	25.1	0.3	16.7	0.2	69.1
19	210	2,435	61,048	△0.6	3,662	△0.2	25.1	0.0	16.7	0.0	68.7
20	206	2,454	61,135	0.1	3,667	0.1	24.9	△0.2	16.7	0.0	68.5
<b>21</b>	<b>204</b>	<b>2,445</b>	<b>60,459</b>	<b>△1.1</b>	<b>3,679</b>	<b>0.3</b>	<b>24.7</b>	<b>△0.2</b>	<b>16.4</b>	<b>△0.3</b>	<b>68.2</b>
国立	1	12	476	0.0	18	0.0	39.7	0.0	26.4	0.0	22.2
公立	203	2,433	59,983	△1.1	3,661	0.3	24.7	△0.1	16.4	△0.2	68.4

### (1) 学校数

学校数は前年度より2校減少(廃校)し、204校(本校203校、分校1校)となり、このうち休校は3校(本校2校、分校1校)であった。

設置者別にみると、国立が1校、公立が203校となっている。

市町村別では、富山市65校、高岡市28校、射水市16校等となっている。

学級数別学校数をみると、7学級の学校が36校(構成比17.6%)で最も多くなっている。

学級規模別学校数では、11学級以下(小規模校)が102校(構成比50.0%)、12~18学級(標準校)が66校(同32.4%)、19学級以上(大規模校)が36校(同17.6%)となっている。

1校当たりの学級数は12.0学級(前年度11.9学級)で、全国の12.5学級を下回っている。

(表4、統計表17、26)

### (2) 学級数

学級数は2,445学級で、前年度より9学級減少した。

編制方式別にみると、単式学級が2,151学級(構成比88.0%)、複式学級が29学級(同1.2%)、特別支援学級が265学級(同10.8%)となっている。

(表4、統計表18)

### (3) 児童数

児童数は60,459人(男子31,027人、女子29,432人)で、前年度より676人(1.1%)減少した。

その推移をみると、昭和33年度に159,700人とピークに達したが、その後は年々減少し、昭和48年度には87,558人(ピーク時の54.8%)に落ち込んだ。昭和49年度からは増加し始

め、昭和 57 年度には 109,983 人となったが、昭和 58 年度からは再び減少傾向が続いていた。昨年度は増加したが、本年度は 60,459 人（ピーク時の 37.9%）と減少した。

学級編制方式別では、単式学級児童が 59,497 人、複式学級児童が 281 人、特別支援学級児童が 681 人となっている。

市町村別では、富山市 23,424 人、高岡市 9,360 人、射水市 5,710 人等となっている。対前年度増減数をみると、高岡市 209 人（2.2%）、富山市 203 人（0.9%）など 11 市町村で減少している。前年度より増加したのは、射水市 37 人（0.7%）、小矢部市 14 人（0.9%）など 4 市町村であった。

1 校当たりの児童数は 296.4 人（前年度 296.8 人）で、全国の 317.4 人を下回っている。

1 学級当たりの児童数は 24.7 人（前年度 24.9 人）で、全国の 25.4 人を下回っている。

（表 4、5、統計表 19、29）

表 5 男女別及び学年別児童数の推移

（単位：人）

年度	計	男子	女子	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年
平成17	61,088	31,148	29,940	10,123	10,140	10,331	10,070	10,580	9,844
18	61,441	31,356	30,085	10,173	10,117	10,164	10,329	10,079	10,579
19	61,048	31,238	29,810	10,125	10,186	10,123	10,187	10,341	10,086
20	61,135	31,179	29,956	10,168	10,128	10,201	10,121	10,174	10,343
<b>21</b>	<b>60,459</b>	<b>31,027</b>	<b>29,432</b>	<b>9,673</b>	<b>10,152</b>	<b>10,132</b>	<b>10,205</b>	<b>10,121</b>	<b>10,176</b>

#### （4）教員数及び職員数

教員数（本務者）は 3,679 人（男子 1,170 人、女子 2,509 人）で、前年度より 12 人（0.3%）増加した。教員総数に占める女子教員の割合は 68.2% となり、前年度より 0.3 ポイント低下した。

1 教員当たりの児童数は 16.4 人（前年度 16.7 人）で、全国の 16.8 人を下回っている。

1 校当たりの教員数は 18.0 人（前年度 17.8 人）で、全国の 18.8 人を下回っている。

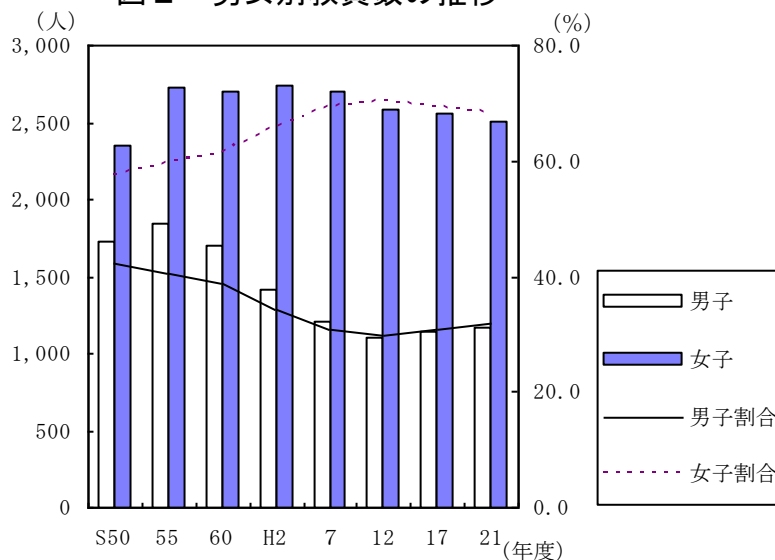
職員数は 911 人で、前年度より 28 人減少した。（表 4、6、図 2、統計表 20、21、34）

表 6 男女別教員数

（単位：人）

年度	計	男	女
平成17	3,707	1,144	2,563
18	3,669	1,135	2,534
19	3,662	1,146	2,516
20	3,667	1,155	2,512
<b>21</b>	<b>3,679</b>	<b>1,170</b>	<b>2,509</b>

図 2 男女別教員数の推移



### (5) 理由別長期欠席者数

平成20年度間の30日以上長期欠席者数は、平成19年度間より10人(2.6%)少ない379人で、理由別では「不登校」が207人(構成比54.6%)で最も多く、次いで「病気」が97人(同25.6%)、「その他」が74人(同19.5%)となっている。

全児童数に占める長期欠席者の比率は、全国より0.16ポイント低い0.62%で、低い順に全国第13位(前年度第10位)であった。

また、全児童数に占める「不登校」の比率は、全国より0.02ポイント高い0.34%で、低い順に全国第28位(前年度第34位)であった。

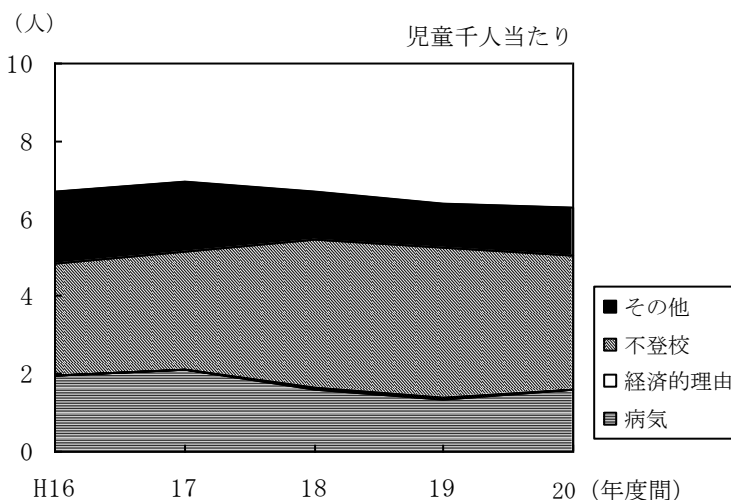
(表7、8、図3、4、統計表23)

**表7 理由別長期欠席者数**(単位:人)

年度間	総数	欠 席 理 由			
		病気	経済的 理由	不登校	その他
平成16	410	119	-	178	113
17	426	129	1	184	112
18	411	99	3	233	76
19	389	83	1	236	69
<b>20</b>	<b>379</b>	<b>97</b>	<b>1</b>	<b>207</b>	<b>74</b>

注)「その他」には、「欠席理由が2つ以上(「病気」と「不登校」など)あり主たる理由を特定できない者」や「保護者の無理解・無関心から欠席している者」が含まれている。

**図3 長期欠席者の理由別推移**



$$\text{児童千人当たりの長期欠席者数} = \frac{\text{各年度間の長期欠席者}}{\text{各年5月1日現在の児童数}} \times 1000$$

**表8 全児童数に占める不登校の比率**

年度間	全児童数に占める 不登校の比率 (単位:%)	
	富山県	全 国
平成16	0.29	0.32
17	0.30	0.32
18	0.38	0.33
19	0.39	0.34
<b>20</b>	<b>0.34</b>	<b>0.32</b>

$$\text{比率} = \frac{\text{各年度間不登校の欠席者数}}{\text{各年5月1日現在児童数}} \times 100$$

**図4 長期欠席者の推移**

